

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和4年8月26日(2022.8.26)

【国際公開番号】WO2021/214930

【出願番号】特願2022-516569(P2022-516569)

【国際特許分類】

F 2 5 B 1/00(2006.01)

F 2 4 F 11/84(2018.01)

F 2 4 F 11/86(2018.01)

10

【F I】

F 2 5 B 1/00 3 0 4 F

F 2 4 F 11/84

F 2 4 F 11/86

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月6日(2022.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

室内機と室外機とを含む空気調和システムであって、
前記室内機が、
室内熱交換器と、
室内の温度を検出する温度検出手段と、
前記室内の湿度を検出する湿度検出手段と

を含み、

30

前記室外機が、

室外熱交換器と、

前記室内機との間で前記冷媒を循環させる圧縮機と

を含み、

前記室外熱交換器と前記室内熱交換器との間に設けられる弁と、

前記温度検出手段により検出された温度に応じて、前記圧縮機の回転数を制御しつつ、
前記湿度検出手段により検出された湿度に応じて、前記弁の開度を制御する制御手段と
を備える、空気調和システム。

【請求項2】

前記制御手段は、前記湿度検出手段により検出された湿度と、目標湿度との差に基づき、
前記弁の開度を小さくするか否かを判断する、請求項1に記載の空気調和システム。

40

【請求項3】

前記室内機は、

前記室内熱交換器に接続される2本の配管のそれぞれの外壁面温度を検出する2つの配管
温度検出手段

を含み、

前記制御手段は、前記2つの配管温度検出手段により検出された2つの配管温度から得ら
れる前記冷媒の過熱度を増加させるか否かを判断する、請求項1に記載の空気調和システ
ム。

【請求項4】

50

前記室内機は、

前記熱交換器に接続される2本の配管のうちの1本の外壁面温度を検出する配管温度検出手段

を含み、

前記制御手段は、前記配管温度検出手段により検出された配管温度から得られる前記冷媒の温度を低下させるか否かを判断する、請求項1に記載の空気調和システム。

【請求項5】

目標温度と、快適性を示す指標とに基づき、目標湿度を演算する演算手段を含み、

前記制御手段は、前記湿度検出手段により検出された湿度と、前記演算手段により演算された前記目標湿度とに応じて、前記弁の開度を制御する、

10

請求項1～4のいずれか1項に記載の空気調和システム。

【請求項6】

複数の室内機と室外機とを含む空気調和システムであって、

前記各室内機が、

室内熱交換器と、

室内の温度を検出する温度検出手段と、

前記室内の湿度を検出する湿度検出手段と

を含み、

前記室外機が、

室外熱交換器と、

前記各室内機との間で前記冷媒を循環させる圧縮機と

20

を含み、

前記各室外熱交換器と前記各室内熱交換器との間にそれぞれ設けられる複数の弁と、

前記各温度検出手段により検出された各温度に応じて、前記圧縮機の回転数を制御しつつ、前記各湿度検出手段により検出された各湿度に応じて、前記各弁の開度を制御する制御手段と

を備える、空気調和システム。

【請求項7】

室内熱交換器と室内の温度を検出する温度検出手段と前記室内の湿度を検出する湿度検出手段とを含む室内機と、室外熱交換器と前記室内機との間で前記冷媒を循環させる圧縮機を含む室外機と、前記室外熱交換器と前記室内熱交換器との間に設けられる弁とを備える空気調和システムの運転を制御する方法であって、

30

前記温度検出手段により検出された温度に応じて、前記圧縮機の回転数を制御しつつ、前記湿度検出手段により検出された湿度に応じて、前記弁の開度を制御するステップを含む、制御方法。

【請求項8】

各々が室内熱交換器と室内の温度を検出する温度検出手段と前記室内の湿度を検出する湿度検出手段とを含む複数の室内機と、室外熱交換器と前記各室内機との間で前記冷媒を循環させる圧縮機を含む室外機と、前記各室外熱交換器と前記各室内熱交換器との間にそれぞれ設けられる複数の弁とを備える空気調和システムの運転を制御する方法であって、

40

前記各温度検出手段により検出された各温度に応じて、前記圧縮機の回転数を制御しつつ、前記各湿度検出手段により検出された各湿度に応じて、前記各弁の開度を制御するステップ

を含む、制御方法。